

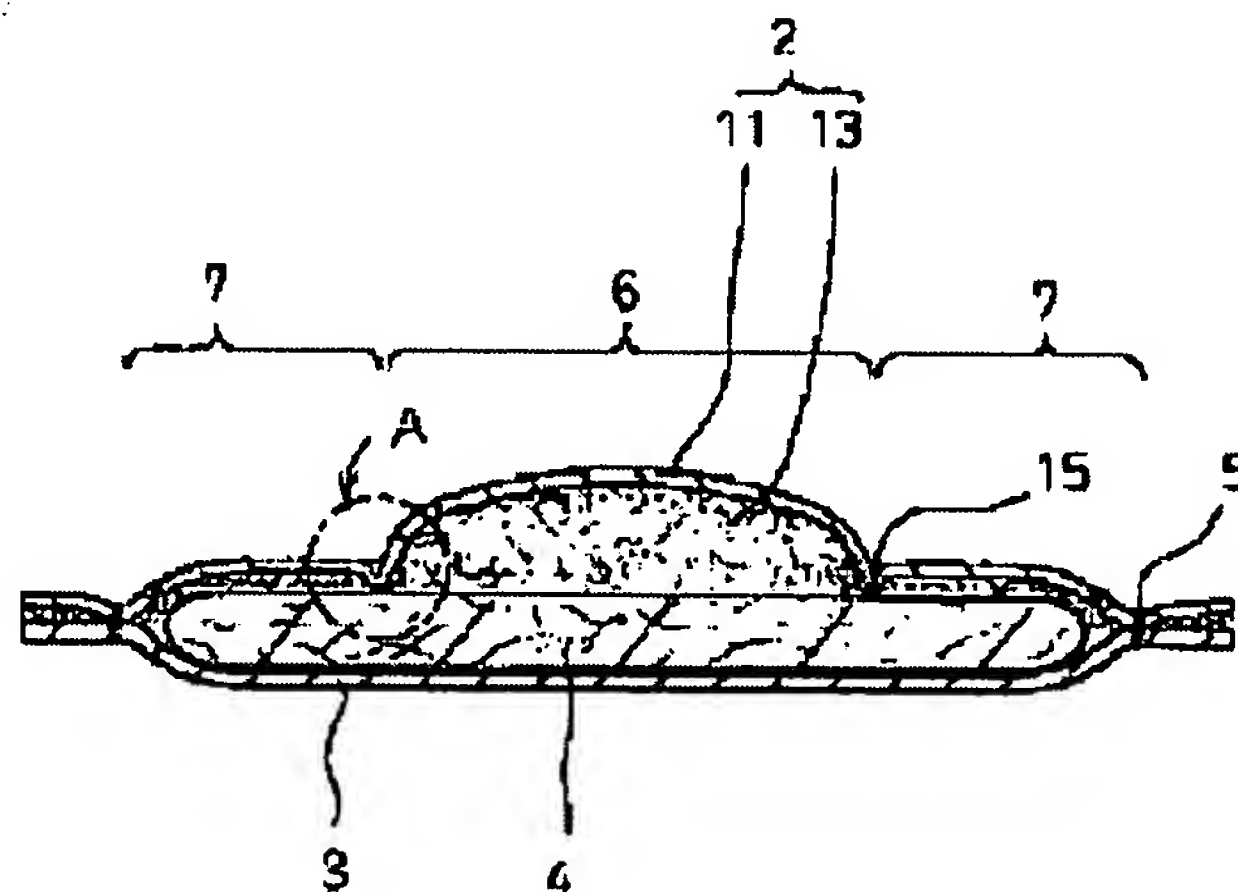
SANITARY NAPKIN**Patent number:** JP8117277**Publication date:** 1996-05-14**Inventor:** WADA ICHIRO; KONDO HIDEKI; KINOSHITA MASATAKA**Applicant:** UNI CHARM CORP**Classification:****- International:** A61F13/15; A61F13/20; A61F13/472; A61F13/511; A61F13/539; A61F13/15; A61F13/20; (IPC1-7): A61F13/15**- european:****Application number:** JP19940263963 19941027**Priority number(s):** JP19940263963 19941027**Also published as:**

AU701800 (B2)

[Report a data error here](#)**Abstract of JP8117277**

PURPOSE: To alleviate a feeling of physical disorder in the use of a sanitary napkin for persons of middle or advanced age.

CONSTITUTION: The surface sheet 2 of a sanitary napkin is formed out of an upper layer sheet 11 made of either the nonwoven fabric of thermoplastic synthetic fiber or a porous and thermoplastic synthetic resin film, and a lower layer sheet 13 made of the nonwoven fabric of thermoplastic synthetic fiber having a higher hydrophilic property. The sheets 11 and 13 are intermittently fused and integrated with each other at an area 7 other than the center area 6 of the napkin via a thermal embossing process. In addition, the area 6 is formed to be higher than the area 7 and have more elasticity.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-117277

(43)公開日 平成8年(1996)5月14日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 1 F 13/15

A 6 1 F 13/ 18

3 1 0 Z

3 3 1

3 4 0

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平6-263963

(22)出願日

平成6年(1994)10月27日

(71)出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72)発明者 和田 一郎

愛媛県川之江市金田町半田乙385-1-3

(72)発明者 近藤 秀樹

愛媛県川之江市金田町半田乙385-1-3

(72)発明者 木下 正隆

愛媛県川之江市川之江町2405-1

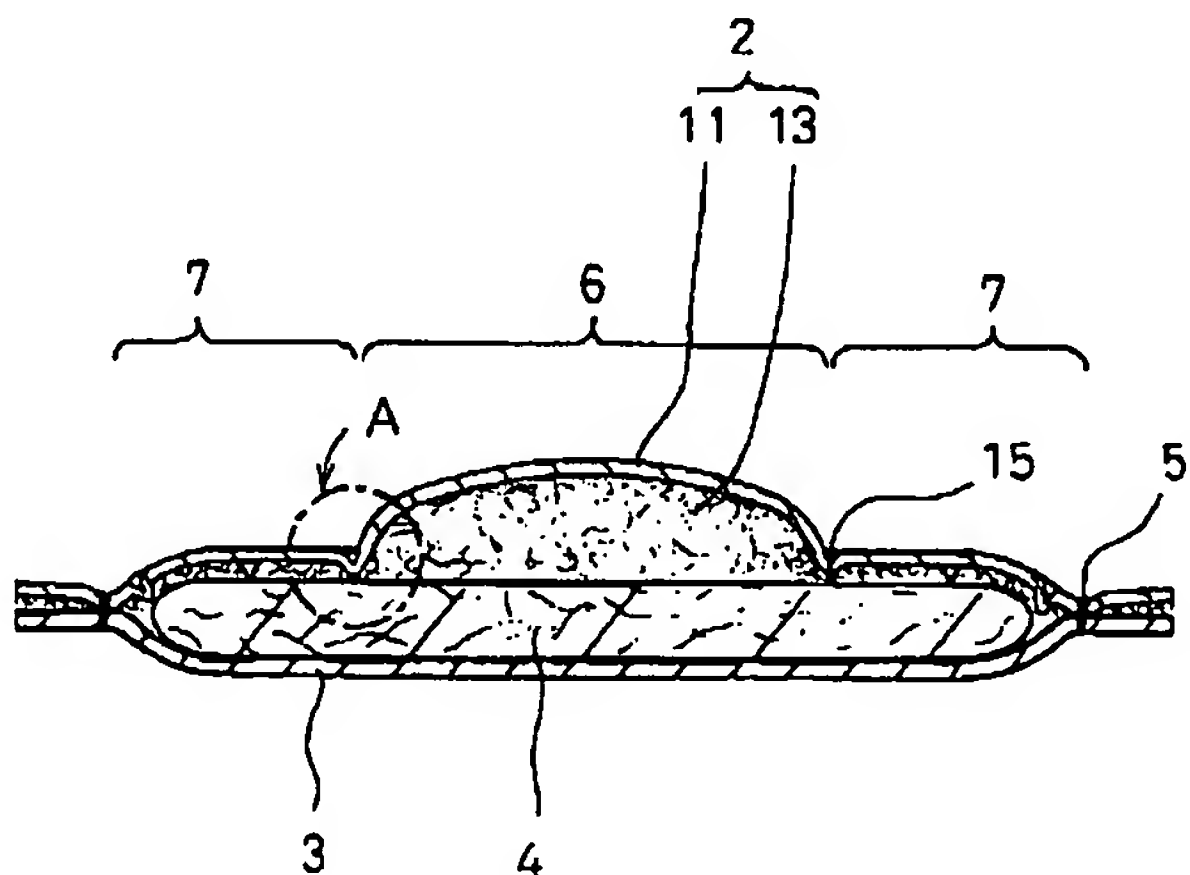
(74)代理人 弁理士 白浜 吉治

(54)【発明の名称】 生理用ナプキン

(57)【要約】

【目的】 中高生理用ナプキンの着用違和感を軽減する。

【構成】 生理用ナプキン1の表面シート2を熱可塑性合成繊維不織布および開孔を有する熱可塑性合成樹脂フィルム of いずれかからなる上層シート11と、上層シートよりも親水性の強い熱可塑性合成繊維不織布からなる下層シート13とによって構成する。上下層シート11, 13は、ナプキン1の中央域6を除くその他の域7において熱エンボス加工により間欠的に融着一体化し、中央域6を他の域7よりも高くかつ柔弾性に富むように形成する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在してなる生理用ナプキンにおいて、

前記表面シートが熱可塑性合成樹脂素材からなる上層シートと、前記上層シートよりも親水性の強い熱可塑性合成繊維不織布からなる下層シートとによって構成され、前記上下層が前記ナプキンの中央域を除いて間欠的に施した熱エンボス加工により融着一体化されるとともに、前記中央域が他の域よりも高くかつ柔弾性に富むように形成されていることを特徴とする前記ナプキン。

【請求項 2】 前記熱可塑性合成樹脂素材が繊維不織布および開孔を有するフィルム of のいずれかからなる請求項 1 に記載のナプキン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、生理用ナプキンに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、生理用ナプキンの少なくとも前後左右の中央部をその周辺部分より特に厚くした、いわゆる中高のナプキンは公知である。例えば、実開昭 58-13227 号公報には、下部吸収材の上面中央部にこれよりも細幅厚層の上部吸収材を重ねて中高のナプキンとする技術が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前記公知技術のごとき構成の中高のナプキンでは、その中高の部分が、女性局部の陰唇に当接するが、ナプキンの他の部分とほぼ同剛性であるため、局部に強い違和感を与えるばかりでなく、陰唇に密着せず、中高に形成した効果が充分に発揮されず、経血が漏れる。

【0004】 そこで、この発明は、ナプキンの中高域をその周辺域よりも柔弾性に富むように形成することによって前記問題を解決することを課題にしている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 この発明が前記課題を解決するために手段とするところは、以下のとおりである。

【0006】 この発明が前提とするのは、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在してなる生理用ナプキンである。

【0007】 かかる前提において、前記表面シートが熱可塑性合成材料からなる上層シートと、その上層シートよりも親水性の強い熱可塑性合成繊維不織布からなる下層シートとによって構成され、それら上下層シートが前記ナプキン中央域を除いて間欠的に施した熱エンボス加工により融着一体化されるとともに、前記中央域が他の域よりも高くかつ柔弾性に富むように形成されていることがこの発明の特徴である。

【0008】

【作用】 かかる生理用ナプキンの表面シートは、中央部（中高の部分）が女性局部の陰唇に柔らかく密着し、経血がその吸収面と女性局部の肌との間から漏れるのを有効に防止する。

【0009】

【実施例】 この発明に係る生理用ナプキンの詳細を添付の図面を参照して説明すると、以下のとおりである。

【0010】 図 1、2 は、生理用ナプキン 1 の部分破断斜視図と、その I I-I I 線断面図である。ナプキン 1 は、透液性表面シート 2 と、不透液性裏面シート 3 と、それら両シート 2、3 間に介在する吸液性コア 4 とからなり、表裏面シート 2、3 は、コア 4 の周縁から延出する部分がシールライン 5 で接合している。

【0011】 表面シート 2 は、ナプキン 1 の前後および左右の各側部間に位置する中央域 6 が周辺域 7 よりも盛り上がっている。裏面シート 3 は、熱可塑性合成樹脂フィルムからなり、コア 4 はパルプを賦型したものであって、各々パルプからなり厚みが一様である。かく構成されたナプキン 1 は、いわゆる中高ナプキンの外観を呈している。

【0012】 図 3 は、図 2 の部分 A における表面シート 2 の拡大断面図である。表面シート 2 は、微細な透液性開孔 10 を有する熱可塑性合成樹脂フィルム 11 からなる上層シートと、熱可塑性合成繊維不織布 13 からなる下層シートとによって構成され、上下層シートは、周辺域 7 に対して施した熱エンボス加工による間欠的な融着部 15 において接合し、一体化している。不織布 13 は、周辺域 7 で圧縮された状態にあり、熱エンボス加工を施していない中央域 6 は、その加工を施してある周辺域 7 に比べて柔弾性に富んでいる。また熱可塑性合成繊維からなる不織布 13 には、親水化処理を施してその親水性をフィルム 11 より強く、コア 4 よりも弱くしてある。したがって、かかる表面シート 2 を使用したナプキン 1 では、中高な中央域 6 が女性局部の陰裂部を含む陰唇によく密着して経血の横漏れを防止し、その中央域 6 に排泄された経血は、表面シート 2 を中央域 6 において透過してコア 4 に吸収される。

【0013】 図 4 は、図 1 と異なる態様のナプキン 1 の平面図である。このナプキン 1 では、左右両側部分にのみ熱エンボス加工を施すことにより、中高な中央域 6 が前後両端間に延びている。

【0014】 この発明において、表面シート 2 の上層に使用する開孔を有するフィルム 11 としては、特開平 4-89054 号公報等が開示されたものを利用することができる。また、フィルム 11 に代えて熱可塑性合成繊維からなる不織布を利用することができる。ただし、その不織布は下層に使用する不織布 13 よりも親水性を弱くして、経血が上層から下層へ速やかに移行できるようにすることが好ましい。なお、これらの不織布には繊維

3

4

が互いに機械的に交絡したものと、熱融着して交絡したもの、ホットメルト接着剤などの接着剤を介して交絡したものなどを使用することができる。コア4は、粉碎パルプに高吸水性ポリマーを混合したものでもよい。

【0015】

【発明の効果】この発明における生理用ナプキンは、表面シートを中高に形成するとともに、その中高域をその周辺域よりも柔弾性に富むように形成してあるから、女性局部に違和感を与えることがないばかりでなく、陰裂部を含む陰唇によく密着し経血の漏れを防ぐことができる。また表面シートを構成する上下層シートが融着一体化しているから、ナプキンの着用中、それらが経血の吸収性を低下させる層間剥離や不規則な皺などを生じることがない。

【図面の簡単な説明】

【図1】 生理用ナプキンの部分破断斜視図。

【図2】 図1のI I - I I 線断面図。

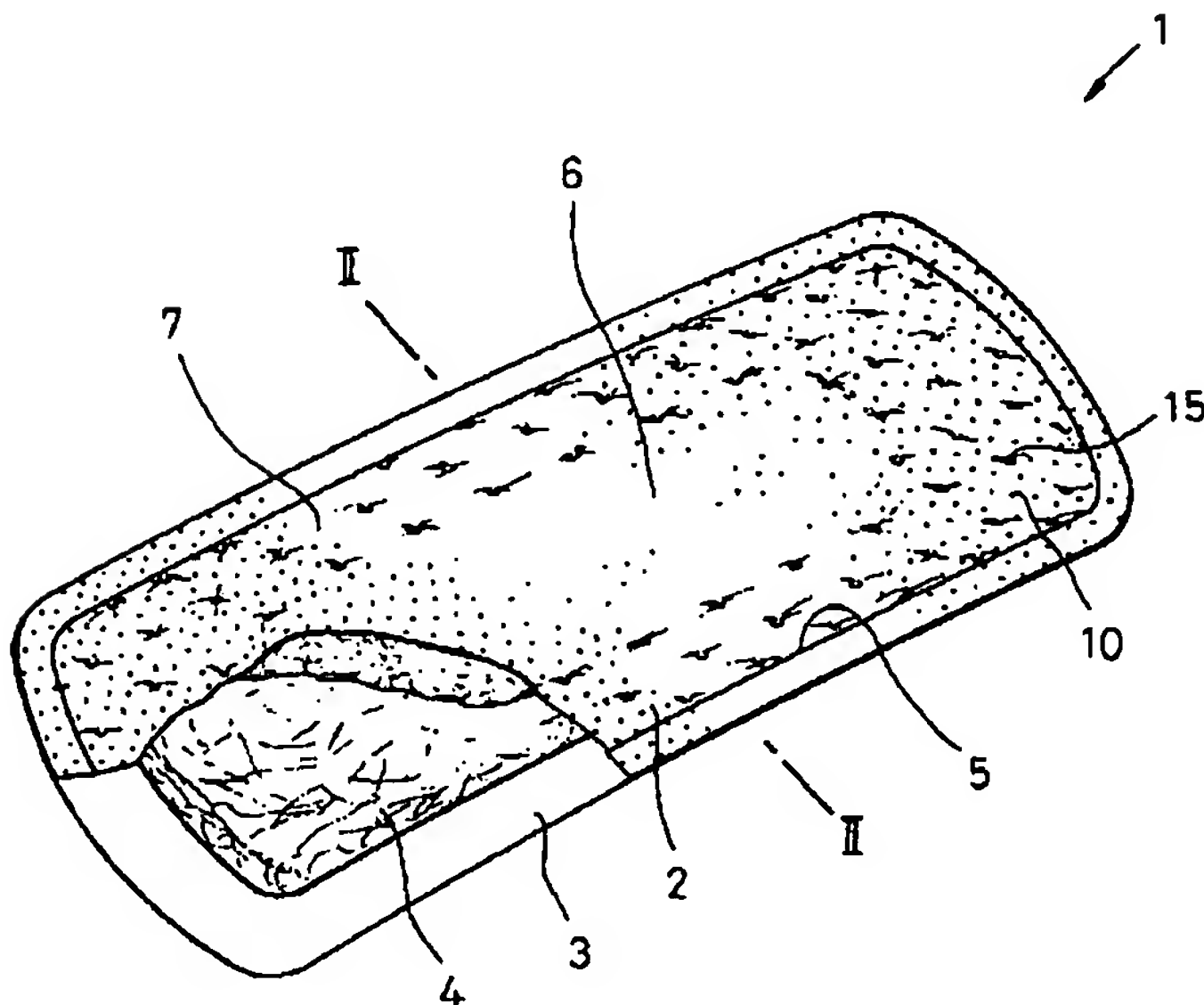
【図3】 表面シートの部分拡大断面図。

【図4】 図1と異なる態様の生理用ナプキンの平面図。

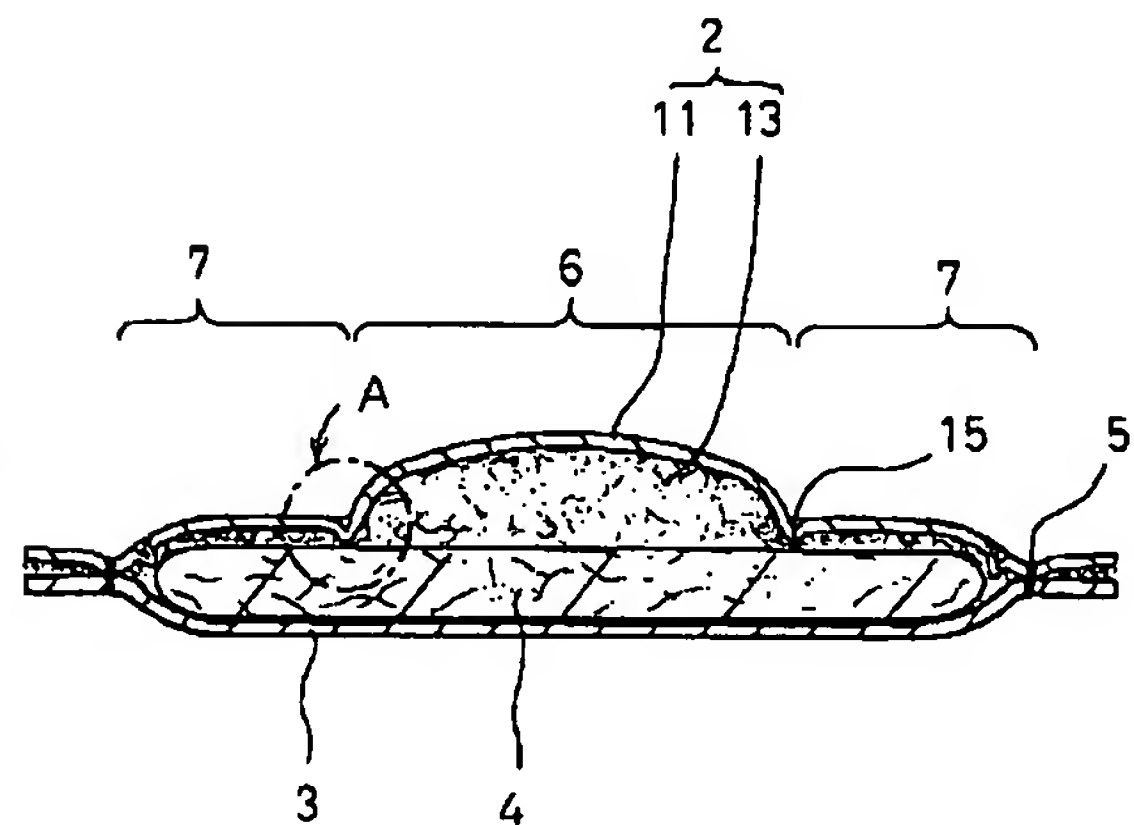
【符号の説明】

- 1 生理用ナプキン
- 2 表面シート
- 3 裏面シート
- 4 コア
- 6 中央域
- 11 上層シート（フィルム）
- 13 下層シート（不織布）

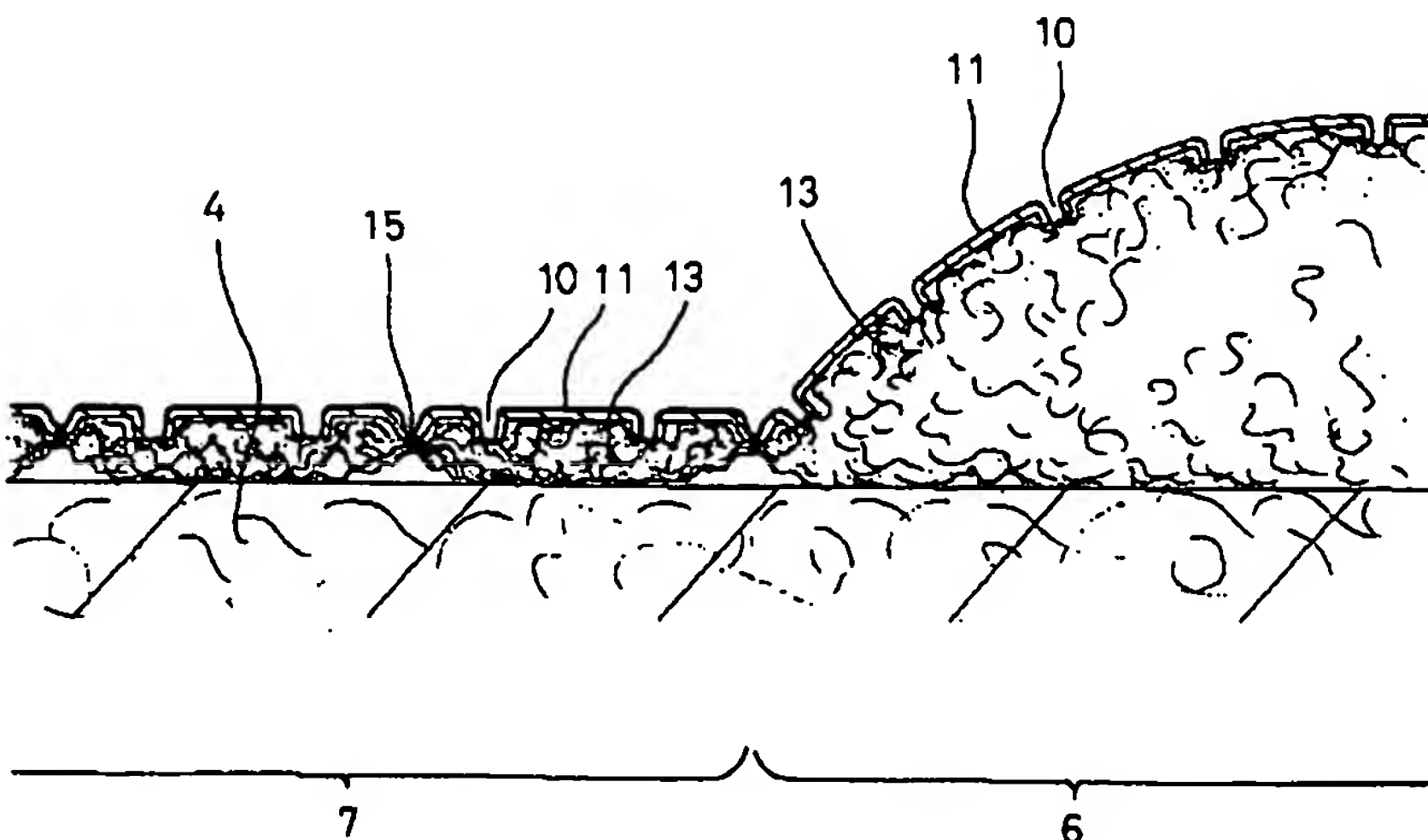
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

